



命の危険！軽視できない残暑

8月5日、ウェザーニュースから最新の「猛暑見解2025」が発表されました。

10月にかけても全国的に気温が平年より高く、特に8月下旬と9月初めには、太平洋高気圧とチベット高気圧が重なる”ダブル高気圧“の影響で、厳しい残暑が予想されるとの事です。

今年は6月から異様な暑さで、6月と7月の日本の平均気温は昨年を上回り、それぞれの月で過去最高の記録を更新しました。

更に8月5日には、群馬県伊勢崎市で41.8度を観測するなど、命に関わるような危険な暑さの日が続いています。

総務省消防庁のHPによる「都道府県別熱中症による救急搬送状況（累計）令和7年5月1日～7月20日（速報値）」の神奈川県のデータでは、7月の時点で熱中症により2名の方が亡くなっています。

神奈川県の熱中症による緊急搬送状況の詳細

- ・乳幼児から高齢者まで1,886名が救急搬送
- ・2名が死亡、重症65名、中等症819名、軽症1000名

また熱中症の発生場所で一番多いのは「自宅」です。

昔の夏とは明らかに違う危険な暑さを軽視せず、命を守るためにもエアコンを適切に使用し、脱水にも気をつけながら、意識して水分補給をおすすめします。

はばたきケアは定期的にご自宅にお伺いするので、独居の方の安否確認も兼ねています。ご相談・お試しだけでもお気軽にお問い合わせください。

介護・医療関係者様へのご説明

訪問医療マッサージの必要性



訪問リハビリとよく一緒にされてしまいますが、役割も使用する保険も異なります。リハビリとの違いは大きく分けて3つありますので、こちらをご紹介いたします。

①対象者が異なる

(マッサージは原則通院が困難な人。リハビリは要支援・要介護者のみ)

②施術者の資格が違う

(マッサージはあん摩マッサージ指圧師。リハビリは理学療法士など)

③施術目的が違う

(マッサージは症状の予防や改善など。リハビリは体そのものの機能改善や回復など)

はばたきケアだから出来る5つの事

今年で15年目を迎えた訪問マッサージの会社です。今まで施術をさせて頂いた患者様は約500名です。医療的ケアが必要なお子さんから、高齢者まで幅広くマッサージをしてきました。そんなはばたきケアだからこそ強みがあります。



①かかりつけ医への同意書の申請依頼をお手伝い・代行出来ます

②むくみに効果的なリンパドレナージュの研修を受けた女性施術者が多く在籍

③日本小児障がい児支援協会の認定院

④施術者に対し、定期的に研修会を実施。マッサージ・ハリなどの技術や知識の向上に日々努めています

⑤定期的なフィードバックで施術目標に沿って常にお体の状態を確認出来ます



株式会社はばたきケア

【本社】

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町1-1-2 クロスポート湘南5階

TEL : 0466-47-7147

FAX : 0466-36-6063

【長津田営業所】

〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田2-37-4-201



HPはこちら↓

